

# 6年産「アスパラガス（立茎ハウス）」栽培基準

品 種 名	ウエルカム、スーパーウエルカム、パープルウエルカム gainリム、ゼンユウカリパー、アティカス
目標粗原反収	540kg
目標製品反収	480kg
播 種 時 期	(定植年)3月下旬～4月上旬
定 植 時 期	(定植年)5月下旬～6月上旬
収 穫 時 期	3月下旬～9月下旬

	10月			11月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月										
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下								
基本作業	防除				倒伏防止措置撤去							ハウス準備				倒伏防止措置						防 除																
								茎葉処理	施肥				春芽収穫	立茎移行(収穫)			夏芽収穫																					
								堆肥施用					施肥				施肥				施肥				施肥				施肥									
														灌 水																								

## 【施肥基準】

肥料名	施用量	要素量(kg/10a)			
		N	P	K	
収穫前 硫安	15kg	3.15			
春収穫後	アスパラ化成552E(有機質)	50kg	7.5	7.5	6.0
	発酵ケイソウペレット2号(有機質)	180kg	5.4	5.4	5.4
立茎中 硫安(夏芽収穫開始後)	20kg×5回	21.0			
合 計	345kg	37.05	12.9	11.4	

## 【農薬使用基準】

項目	適用病虫害名	農薬名	使用濃度(倍)	10a当り薬量(水100ℓ)	適正使用基準		RACコード
					使用時期	回数	
殺虫剤	アブラムシ類・ヨトウムシ・カメムシ類 ジューンホシクビナガハムシ	アディオソ乳剤	2,000	50ml	前日	3	I:3A
	アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤	5,000	20g	前日	2	I:5
	アオムシ・コナガ・ヨトウムシ・ハスモンヨトウ	フローバックDF	1,000	100g	前日(発生初期)	-	I:11A
	ネキアザミウマ・ハスモンヨトウ・ヨトウムシ	プレオフロアブル	1,000	100ml	前日	2	I:UN
	アザミウマ類・カメムシ類	モスピランSL液剤	4,000	25ml	前日	2	I:4A
	ネキリムシ類	ガードベイトA	-	3kg	前日(株元散布)	3	I:3A
殺菌剤	斑点病・茎枯病	アフエツフロアブル	2,000	50ml	前日	4	F:7
		ダコニールエース	1,500	66ml	前日	4	F:M5
		Zポルドー	500	200g	-	-	F:M1

※アディオソ乳剤、ガードベイトAは成分としてペルメトリンを含む。ペルメトリンを含む農薬の総使用回数は3回以内。

項目	適用雑草	農薬名	10a当り薬量	使用時期	回数	RAC
除草剤	一年生雑草	センコル水和剤	150g	萌芽前又は収穫打切後	1	H:5
		ザクサ液剤	500ml	萌芽前又は畦間処理(収穫前日まで)	2	H:10
	一年生イネ科雑草 (スズメカビワを除く)	ナブ乳剤	200ml	イネ科雑草3～5葉期(収穫前日まで)	1	H:1

## 【ローテーション防除と作業体系】

散布時期	回数	薬剤名および作業
前年 10月上旬	1	アフエツフロアブル
収穫年	2月下旬	堆肥施用
	3月中旬	収穫前施肥(硫安)
	3月下旬	春芽収穫開始
	4月下旬	立茎移行(収穫継続)
	5月上旬	春芽収穫後施肥(アスパラ化成552Eと発酵ケイソウ)
	6中～9上	立茎中施肥(5回)
	6月下旬	夏芽収穫開始
	7月中旬	2 アフエツフロアブル
	8月上旬	3 ダコニールエース
	8月下旬	4 アフエツフロアブル
	9月中旬	5 ダコニールエース
	9月下旬	夏芽収穫打ち切り

## 【土づくり・防除技術】

1. 完熟堆肥(牛ふん・麦稈堆肥で5t/10aまで)の施用を基本とする。
2. 土壌診断を実施し、pH6～6.5を目標に土壌改良を行い、適正施肥を行なう。
3. 斑点病については、5回の基幹ローテーション防除を基準とする。